



2012年が始まってすでに2週間が過ぎました。皆さまはどのようなお正月を過ごされましたでしょうか。たくさんの賀状やメールを頂き、ありがとうございました。今年は初めて年賀状を断念。そうしたら、びっくりするほど時間的にも精神的にもゆとりができました。年始のご挨拶を怠ったご無礼をお許し下さい。あれほどの自然災害や大きな事故が起こっても、やはり止まらないのは時間。でも後から振り返ってみて、「大変だったけど、だからこそ(いい方向に)変わった」と言えるよう、今年も来年も再来年も、あの被害を教訓に、自分たちに今、何ができるかを考え、そして行動に移していきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

私たちは思いのほかのんびりとしたお正月を過ごしました。年賀状を諦めた他、お節もおばが差し入れしてくれ、そして耕太の実家からは「しょっちゅう会ってるからわざわざ来なくていい、ゆっくりさせてくれ」との「立入禁止令」が出たのです。家の工事が楽しくて仕方ない耕太も、31、1、2日はさすがにお休み。日頃の疲れが取れたので、こんなお正月もいいなあとしみじみ思いました。(我が家ではサンタクローズからの委託を受けて天神様が大晦日に持ってくることになっているので、)プレゼントをもらった子供たちは、お正月の朝からウキウキご機嫌。さっそくお礼を兼ねて近くの天神様に初詣をしました。子供たちがもらったのは希望していた双眼鏡。そんなわけで、男4人は双眼鏡を手に山に行ったり畑に行ったり。バードウォッチングを楽しんでいました。子供たちからももらった年賀状に思わず涙。「おかあさん、いつもおいしいごはんありがとう」ですって。今年も頑張ろうと思います。



先月号でご紹介した家づくりは、年が明けてから内装工事をしています。外壁ができて断熱材も入れたので、中はそれほど寒くありません。この「間伐材を使ったハーフビルド家づくり」について、来月東京で発表をします。2月18日13時から「ちよだプラットフォームスクエア」。他にも、農村や農業をテーマにしたアイデア豊富なプロジェクト発表がありますので、もしよろしければ、冷やかにいらして下さい。



さて、年明け早々、大津家に動きです。19日から3週間ほど、家族でイタリアとドイツに行ってきます。私(えり)は最初の1週間、お仕事。その間、耕太は友人宅で子守りです。1週間もまかせるのは初めてなので、大丈夫かなあ?残りの2週間は友人や恩人たちを転々と訪ねてきます。私の仕事は、視察の通訳です。農村にこそ豊富にありながら、使われずに眠っていた有機資源を

利用して、エネルギー（電気と熱）の自給をしている集落が、ドイツに80近くもあるのです。ドイツが再生可能なエネルギーの本格的な利用に乗り出したのは、26年前に起きたチェルノブイリ原発事故がきっかけです。今では再生可能なエネルギーの割合は約20%（日本は約3%）。エネルギーの作り方を变えただけでなく、エネルギーの利用をできるだけ減らす努力も怠っていません。ドイツの国民みんなが環境に対する意識が高いわけではなく、むしろ一般市民の意識はあまり日本と変わらないかな、と思う程度です。ではなぜこれほどの差が出ているのか。その辺りをじっくりと見て来たいと思っています。写真は我が家の再生可能なエネルギー、薪ストーブ。だいぶ年季が入ってきました。



しばらく家を空けるとなると、その準備が大変。牛の世話は叔父が中心にしているので良いのですが、イヌ、ニワトリ、金魚、ウサギなどの世話をお願いし、凍って破裂しないように水道を止め、そして冷蔵庫のものも極力からっぽに。菜園の方も、今年はこれまでのところ暖冬だったのでつい手を抜いていたのですが、いない間に大寒波がくるかもしれないので、タマネギに籾殻を被せて行きます。そのためにわざわざ保育園を休んだ桔平と連蔵。せっせと籾殻を運んでいる...かと思いきや、隣の田んぼで「ひこばえ戦争」が始まっているのではないですか。これは、イネの残っている株を引き抜いては相手に投げつけて当てるゲーム。大人がやってもかなり面白いですが、当たるとかなり痛い。ゲームやテレビとは無縁の我が子たちならではの遊びです。



そして今日(14日)はどんどや(どんど焼き)。無病息災を祈って、高く積み上げた竹に火を点けます。お天気は良かったのですが、風が冷たく、焚き火から離れられませんでした。子供たちは近所の子供たちとの遊びに夢中。どうか皆様におかれましても、健康で幸の多い年となりますように。



しばらく不在にしますので、今月は電話での問い合わせや急なご注文にお答えすることができません。メールは見られる予定ですので、変更その他はそちらのほうにご連絡をお願いします。どうぞご了承下さい。それではしっかり勉強してきます。